

かがわDX Lab実証研究項目募集にかかる質問への回答について

2025年4月30日時点

質問内容	回答
WGや実証実験で一部協力してもらう必要がある事業者についても、かがわDX Lab会員である必要があるか。	必ずしも会員である必要はないが、協力事業者の方も会員になっていただいた方が活動も円滑に進めやすい。なお、提案者はかがわDX Lab会員である必要がある。
2か年以上の長期プロジェクトを提案することは可能か。また、実証実験を当初想定していなかった場合、WG活動を通じて必要となれば、実施することは可能か。	1年以上の長期間でのWG活動は可能である。過去のWGの活動実績を鑑みても、WGを設置してから解決策の検討や実証実験の計画策定等に取り組むため、研究項目提案の翌年度に実証実験を実施するケースがほとんどであるので参考にさせていただきたい。なお、かがわDXLabは地域課題解決につながるサービスを創出することを目的に活動しているため、研究機関のようなあまりにも長期にわたってのWG活動は想定していない。なお、WG活動は複数年にわたっても構わないが、実証実験については、原則として開始から終了までは単年度で行う必要がある。また、当初に実証実験を想定していない場合であっても、WGでの議論を通じ、実証実験の必要性をWGの中で合意形成を図ることができれば実施可能である。
補助金が得られることが判明した後にWGを設置するというのは可能か。また、補助金に採択されないと判明した場合、WGの設置自体をやめることは可能か。	不可。かがわDX Labの活動は、住民のために新しいサービスを構築し、社会実装につなげることが目的であり、補助金を活用して実証実験をすることが目的ではない。また、研究項目の採択と、補助金の採択は別で実施している。研究項目として採択された場合、かがわDX Labの基本理念及び行動憲章にのっとり、WG活動を通じてサービス構築に向けた共創活動を実施いただく必要がある。
研究項目として採択された場合、提案者がWGメンバーの選考を行うことは可能か。早期のサービス実装に向け、可能な限り即戦力でのWG設置としたい。	WGメンバーとして参加してもらいたい事業者がいる場合は、提案者にて個別に御調整いただいて差支えない。会員との接点がないなどの場合は、事務局に相談のうえ調整することも可能。ただし、WG設置時に、参加を希望している会員に対し、即戦力が否かの判断基準で参加を拒むことはできません。その他やむを得ない理由がある場合は個別に事務局に相談してください。
民間事業者提案型と自治体探求型の2つの募集形式がある。民間事業者提案型はビジネスモデルが重視されているが、「地域課題解決」のサービスであり、そのサービスの実装にあたり、自治体が予算確保ということはあるか。	民間ビジネスとして自走可能なモデルである必要があり、BtoGのビジネスモデルは審査時において採択されにくい。
地域の課題というのは、様々な課題がある。例えば高齢者であったり農家であったり。課題設定にあたり、誰のこういった課題か、ある程度絞っても良いのか、それとも、広く「地域」と捉えなければならないか。	地域課題は幅広いため、様々な切り口でご提案いただくことは差し支えない。